

平成31年1月28日

あきる野市議会議長 殿

会 派 名 くさしぎ

代表者名 辻よし子



会派の（調査研究・研修）報告書

このことについて、下記のとおり実施したので報告します。

記

1 調査研究または 研修実施日	平成 31 年 1 月 25 日 (金)
2 調査研究または 研修の場所	アットビジネスセンター池袋駅前別館803号
3 調査研究事項 または研修名	自治体議員が知っておくべき「新地方公会計の基礎知識」
4 参加者氏名 (1 名)	辻よし子
5 調査研究または 研修の概要及び 感想等	別紙のとおり

※ 自家用車又はレンタカーを使用した場合は、必ず自家用車・レンタカー使用報告書を添付してください。



【概 要】**1 新公会計制度の基本**

①日本国憲法では、「国費を支出し、又は国が債務を負担するには、国会の議決に基づくことを必要とする」(第85条)と定められ、財政法第2条第1項で「支出とは、国の各般の需要を充たすための現金の支払いをいう」と書かれている通り、行財政においては現金主義会計が基本となっている。

発生主義会計に基づく新公会計制度は、現金主義会計を否定するものではなく、ストック情報・フロー情報を相対的に把握する点において現金主義よりも優れていることから、現金主義を補完し、財政の効率化・適正化を図るために必要となってきたものである。

②発生主義会計を理解する上で重要なことは、簿記の基本原則である「取引を2つの面(借方・貸方)から記録」し、「5つの要素(費用・収益・資産・純資産・負債)から分類」し、その結果として「貸借対照表」と「損益計算書」が作成されることである。

2 新公会計制度の財務書類の見方

①財務書類の中でも、資産の情報が分かる「貸借対照表(バランスシート)」をまず理解する必要がある。「貸借対照表(バランスシート)」の資産の中の現金預金の流れを示したものが資金収支計算書であり、純資産の金額は、純資産変動計算書の本年度末残高と対応する。また、行政コスト計算書の純行政コストの金額は、純資産変動計算書に記載される。こうした4表の関係を把握しておくことが大切である。

②新公会計制度が予算・決算に生きてくるのは、たとえば、ある事業の建設費をみたときに、建設費のイニシャルコストだけではなく、修繕費や更新費など施設の維持にかかるランニングコストを含めたライフサイクルコストを把握することにある。さらに、施設の運営にかかる事業費や人件費、借入金の利息など事業実施にかかる経費も含め、長期的な視点で事業の妥当性を審査することである。

3 財務書類4表を使った分析

①将来世代に残る資産があるのかを分析するために、いくつかの指標がある。「住民一人当たりの資産額」「有形固定資産の行政目的別割合」「歳入額対資産比率」「有形固定資産減価償却率」など。その中でも重要なのが、「有形固定資産減価償却率」であり、資産老朽化比率と呼ばれていたものである。

②将来世代と現世代の負担割合が適切かどうかを分析するためには、「純資産比率」「社会資本等形成の世代間負担比率」がある。

③どのぐらいの借金があるか確認するためには、すでに財政健全化判断比率によって分析がおこなわれているが、これに加えて財務書類からも有用な情報が得られる。「住民一人当たりの負債額」「基礎的財政収支」「地方債の償還可能年数」など。

4 その他

講師が会計管理者を務めていた習志野市では、千葉大学と協働で多くの市民に市の財務状況を理解してもらうことを目的に、公募で高校生を集め、バランスシート探検隊を組織した。市の貸借対照表（バランスシート）を高校生にも分かる視点で読み解く、全国初の取組みとして注目を浴びた。その後、この活動は他地域にも広がっている。

<感想>

6時間近い講義で、新地方公会計の基礎を集中的に学ぶことができ、たいへん有意義だった。あきる野市の「有形固定資産減価償却率」（資産老朽化比率）は「平成28年度あきる野市の財政」によれば、平均で79.6%と非常に高い値になっている。同書には「多くの道路や橋梁で固定資産台帳上の簿価を1円として取り扱ったことが（値が高くなった原因として）挙げられる」と書かれている。この値では他市との比較ができないため、道路や橋梁を除いた建物での「有形固定資産減価償却率」で比較する必要があることを、今日の講義を通して知った。また、貸借対照表における資産の土地の価格

について、取得時価格と再調達価格の考え方があることを知り、納得することができた。

今日の講義で得た基礎知識をもとにさらに学習を重ね、新公会計制度を用いて、あきる野市の財政状況を分析していきたい。

